

# AIとジェンダー・バイアス

AIとは人工知能(Artificial Intelligence)の略称です。AI技術の急速な発展は、社会のさまざまな側面に革新をもたらしています。その一方で、社会に存在する差別や偏見が露呈し、ジェンダー格差を拡大させる可能性も指摘されています。

画像生成AIにおいて特定の職業や役割を示す画像を生成する際にも、ジェンダー・バイアスが見られることがあります。「医師」という単語から生成される画像の多くが男性を示し、「看護師」という単語からは女性の画像が生成されるといった具合です。また、AIアイドルが量産され、美の基準としてルッキズムを強化するおそれも指摘されています。

そもそもAIが学習する膨大なデータには何らかのバイアスがかかっているため、AIがジェンダー・バイアスを持つことは理論的には当然といえます。それを防ぐためには、まず私たちの社会におけるジェンダー・バイアスに対処する必要があります。

AIは道具にすぎず、その使用方法を決めるのは人間です。したがって、AIが既存の社会的偏見を反映し、強化してしまう危険性に注意を払うことが重要です。この点において、AIの開発と応用におけるジェンダーバランスの改善が求められています。厚生労働省の調査(※)によれば、IT技術者における女性の割合はわずか19%です。女性の開発者を増やすことが、社会におけるジェンダー格差の解消にも寄与すると考えられます。

AIの応用範囲は広がり、私たちの生活や仕事に深く浸透しています。だからこそ、AIは安全で公平、包括的で信頼できるものでなければなりません。利用者自身がAIの動向や影響に関心を持ち、公平な社会について考えることが求められます。

※厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」。「IT技術者は、「システムコンサルタント・設計者」、「ソフトウェア作成者」、「その他の情報処理、通信技術者」の3職種を足し合わせたもの。



## 令和6年度 埼玉県荻野吟子賞 受賞者決定!

埼玉県では、日本で最初の公認女性医師となった荻野吟子にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所を表彰しています。令和6年度受賞者は以下の方々です。



大賞(個人・団体部門)	奨励賞(個人・団体部門)	
<p>くわい あの <b>桑井 亜乃さん</b></p> <p>アルカス熊谷所属 ラグビーレフリー(熊谷市在勤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビー界では男女含めて世界で初めて、選手とレフリー両方でオリンピックに出場。リオ2016オリンピック女子セブンズ出場、パリ2024オリンピックで主審を務める。</li> <li>現在も、リーグワンで女性初の審判に選出されるなど、前人未踏の挑戦を続けている。</li> </ul>	<p>ふじしろ とうこ <b>藤代 瞳子さん</b></p> <p>「帯バッグの小梅」代表 (川越市在勤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要となった帯を、和装にも洋装にも似合う帯バッグにリメイクし販売している。</li> <li>帯バッグの制作を地域のお針子さん達に依頼することで、縫製技術の継承・育成、ひいては女性の経済的自立に寄与している。</li> </ul>	<p>まつもと <b>松本 めぐみさん</b></p> <p>松本興産株式会社取締役 (小鹿野町在勤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夫が代表を務める会社で経営に参画する中で、高校生でも決算書分析ができる「風船会計メソッド」を約2年かけ考案、特許を取得。</li> <li>風船会計メソッドにより社員と会計意識を共有した結果、組織風土を大きく変革した。</li> </ul>

前列左から、松本めぐみさん、藤代瞳子さん、桑井亜乃さん、臼田和弘さん(㈱臼田ファインモーターズスクール代表取締役兼会長)、鈴木美緒さん(㈱grain grain代表取締役)、私市千佳さん(㈱ベビーランド代表取締役) 後列左から、神尾真知子選考委員会座長、齊藤邦明県議会議長、大野元裕知事、小林哲也熊谷市長、植山志のぶ県民共生局長

いきいき職場部門賞(いきいき職場部門)		
<p><b>株式会社臼田ファインモーターズスクール</b></p> <p>教育サービス業(さいたま市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>能力重視の昇格制度や就職就任希望調査により、女性役職者が20年前の1名から9名に増加。</li> <li>男性指導員の割合が高い自動車教習所業界において、女性指導員割合向上のため、女性社員の声を反映した制度・環境づくりを努めている。</li> </ul>	<p><b>株式会社grain grain</b></p> <p>介護事業・保育事業・飲食業(春日部市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内保育所の設置や様々な勤務形態の導入など、働く女性が安心して育児と仕事を両立できる環境を整備。</li> <li>子育て中のスタッフが多いが、勤続年数が長い人が多く、短時間社員も管理職に昇進している。</li> </ul>	<p><b>株式会社ベビーランド</b></p> <p>医療・福祉事業(所沢市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直接園児に関わらない業務をICTシステムの導入により効率化するなど、保育士が働きやすい環境を整えている。</li> <li>雇用形態の柔軟な変更や企業主導型保育園の設置により、職員は安心して産休・育休を取得することができる。</li> </ul>

## 活動発表コーナーで、日頃の活動を発表しませんか?

当センターでは、男女共同参画の視点に立って活動する団体やグループのために、作品(パネル、絵画、写真等)を展示する場をご用意しております。料金は無料です。皆様の日頃の活動成果を発表する場として、ぜひご利用ください。

- 場所** 3階・4階活動発表コーナー
- 利用期間** 原則2週間以内
- 料金** 無料(展示に関する備品も無料でご利用いただけます。)
- 申込み** 利用月の3か月前から受付(先着順)



詳しくは、With You さいたまホームページをご覧ください。



展示例

# With You さいたま

With You さいたま  
埼玉県男女共同参画推進センター  
〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2  
TEL 048-601-3111  
FAX 048-600-3802  
https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/

開館時間  
月曜～土曜 / 9:30～21:00  
日曜・祝日 / 9:30～17:30  
休館日 / 第3木曜日、年末年始



貸出施設のご利用時間  
午前 / 9:30～12:00  
午後 / 13:00～17:00  
夜間 / 18:00～21:00  
※利用時間には、準備及び後片づけの時間も含まれます。



## With You さいたま相談

電話相談 TEL 048-600-3800  
DV相談専用 TEL 048-600-3700  
相談時間 月～水・金・土曜 / 9:30～20:30  
日曜・祝・休日 / 9:30～17:00  
(木曜日、年末年始を除く)

## 埼玉県女性キャリアセンター

電話相談 TEL 048-601-1023  
相談時間 月曜～金曜 / 10:00～11:30  
12:30～16:30  
(祝日、第3木曜日、年末年始を除く)

## 面談相談予約 TEL 048-601-5810

受付時間 月曜～土曜 / 9:30～17:30  
(祝日、第3木曜日、年末年始を除く)

## ハローワーク求人情報の提供

求人情報の検索 月曜～土曜 / 9:30～17:30  
求人情報の紹介 月曜～土曜 / 10:00～17:00

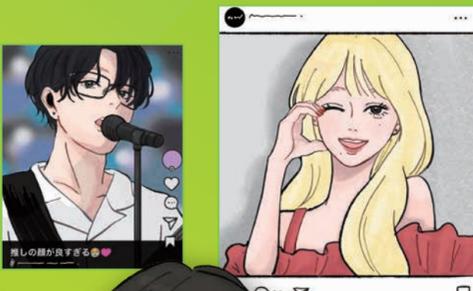


With You さいたま  
ホテルプリランテ武蔵野3・4F  
さいたま新都心駅から徒歩5分 北与野駅から徒歩6分



## 特集1 P.2-3 「メディアとジェンダー」 ルッキズムを考える

特集「この春の一番」はコレ!



## 特集2 P.3-4 第23回 With You さいたまフェスティバルを開催しました!

### CONTENTS

- P.5 コラム「AIとジェンダー・バイアス」
- P.5 埼玉県におけるジェンダー主流化の取組を紹介します!
- P.5 情報ライブラリーより
- P.6 令和6年度埼玉県荻野吟子賞受賞者決定!
- P.5 相談コラム
- P.6 活動発表コーナーで、日頃の活動を発表しませんか?

## 情報ライブラリーより

**少女マンガのプサイク女子考**  
トミヤマユキコ 著 左右社(2020年)  
請求記号:726.1 / シ

ライター・**少女マンガ研究者の著者による少女マンガ × ルッキズムエッセイ**

少女マンガのヒロインは、「美人」な女の子だけだと思いませんか?実は「プサイク」とされる設定のヒロインもたくさんいます。本書は、そのような26作品のマンガを収録・考察しています。

プサイクヒロインは多様です。プサイクのまま幸せになった者、美人になっても苦しむ者——必ずしも「美人は得でプサイクは損」というわけではありません。また、その裏には自己肯定感や家族との関係などが複雑に絡み合っています。紹介される様々なヒロインの生き方は、私たちに多くの示唆を与えてくれます。

読後、見た目や美醜の問題とどう向き合うか、ひいては、人の幸せとは何か、考えることができる一冊です。

※上記の本は、With You さいたま 情報ライブラリーにて、貸出しをしています。

## 相談コラム

「性別には男と女しかない」という言葉を聞いて、皆さんはどう思われたでしょうか。ある国の大統領の発言です。となると性自認の問題で悩んでおられる方は、どのように生きていったらよいのでしょうか。生まれた時代や国、住んでいる所によって異なる価値観が存在し、生きづらさを感じている人たちは居場所探しにご苦労されているかもしれません。また、職場や学校で、あるいは家庭で「力と支配の関係」で苦しみ、どうしても良いのか迷われている方もおられるのではないのでしょうか。

私たちWith You さいたまは、属性に関わらず、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現を目指し、困難な問題を抱えながら頑張っている皆さんを応援しています。今こころの中で渦巻いていることを吐き出したい、誰かにつづがきたいとお思いになったら相談室に電話をかけてみませんか。あなたの悩みごとや困りごとについて一緒に考えていければと思います。

## With You さいたま電話相談

さまざまな悩み相談 TEL 048-600-3800  
DVに関する相談 TEL 048-600-3700

時間 月～水、金、土曜 / 9:30～20:30  
日曜、祝・休日 / 9:30～17:00(木曜日、年末年始を除く)

インターネット相談は24時間受付  
https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/counsel/guide.html



## 埼玉県におけるジェンダー主流化の取組を紹介します!

## 『ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化のための標準手引き』を作成しました!

地震、豪雨、台風等の災害が近年ますます増加しています。災害が発生した際に「ジェンダー視点」を取り入れた避難所運営を実現するためには、避難所開設・運営に関わる市町村職員、自主防災組織や自治会など地域の方々、避難所に指定されている施設管理者の3者が共通認識をもって取り組むことが重要です。この手引きを多くの方に読んでいただき、いざという時の備えにしていきたいと思います。

(令和6年12月 埼玉県危機管理防災部災害対策課)

**手引きの主な内容**

- ジェンダー視点による避難所開設・運営の基本的な考え方
- 避難所マニュアル点検チェックリスト
- ジェンダー視点を考慮した避難所レイアウトの考え方

手引きの詳細は、https://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/hinanjo.htmlをご覧ください。



# 「メディアとジェンダー」ルッキズムを考える 「人は見た目じゃない」と言うけれど

現代社会では、メディアやSNSを通じて多様なイメージが氾濫しています。その中には「美的基準」を規定しようとするものも存在し、特に若年層のメンタルヘルスに悪影響を与えています。こうした外見や身体的特徴に関する差別的な考え・態度、すなわち「ルッキズム」は、現在、世界的に重大な社会問題となっています。一度立ち止まって、ルッキズムについて考えてみませんか。

## ルッキズムとは

「ルッキズム」は、「Looks」(見た目)と「ism」(主義)を組み合わせた造語です。外見を理由とした差別は昔から存在していました。そうした中、1970年頃にアメリカで、体型の多様性を尊重することを訴える「ファット・アクセプトランス運動」が起こりました。これは、太っているというだけで尊敬を傷つけられてきたことへの抗議行動であり、そこから「ルッキズム」という概念が派生しました。



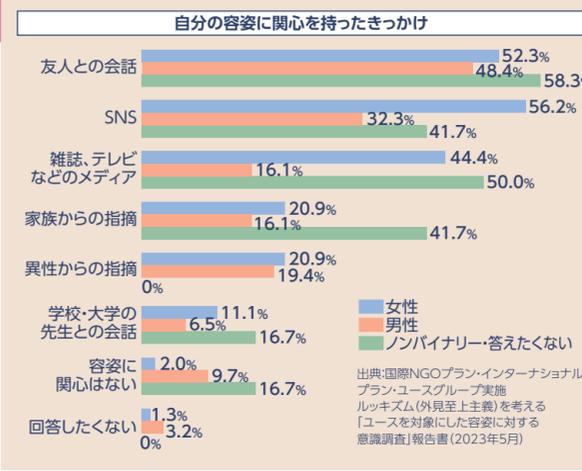
そして、2000年頃から、就職時に顔立ちや体型、服装を理由に採用されないことが問題視されるようになり、現在、ルッキズムとは外見を評価基準とし、一部の人が不利益を被る差別を指しています。欧米では、外見による差別を禁止する法律や条例が制定されていることから、広告業界でもプラスサイズモデルをはじめ、年齢や性別に関わらず多様なモデルの起用が進んでいます。

## 日本におけるルッキズムの現状

海外では、他者の外見について言及することが差別の問題と認識されるため、そのような話題に触れない傾向があります。一方日本では、挨拶代わりに外見や体型について話すことがあります。例えば、親や友人からの「少し太った?」「やせた?」「あの子美人だね」、初対面の人からの「背が高いね」などの発言がそれにあたります。これらの何気ない言葉に他意はないものの、受け取る側にとってはプレッシャーやコンプレックスとなるおそれがあります。

日本では、ルッキズムについて、とすると単に「人を見た目で判断してはいけない」といった意見に傾きがちです。そのため、「美しくなりたいという気持ちまで否定するのか」「他者の外見に言及するだけで差別なのか」等の疑問が生じることもあります。一方で、「人は見た目ではない」と言いつつ、実際には外見で判断する場面が根強く残っている現状があります。

なお、ルッキズムは自身が美しくなることを否定するものではありません。外見の美しさを基準とし、差別や偏見を持つことが問題なのです。

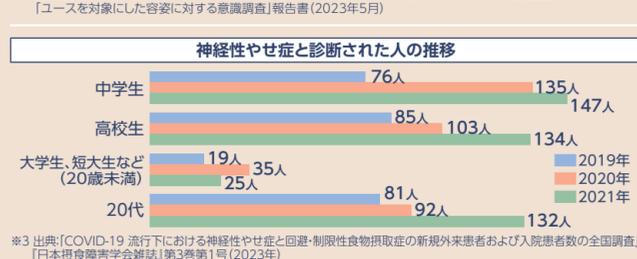


## ルッキズムを助長させるSNSや広告と、見た目から逃れられない若者たち

SNSや広告は、ルッキズムを助長させる一因といわれています。広告やテレビ番組では、外見的な美しさがよく取り上げられ、美を追求する風潮を強めているとの指摘もあります。依然として女性には、「容姿に気を使わなければならない」という固定観念や思い込みが浸透していますが、男性にも外見の美しさが求められるようになってきました。SNSや電車内では、ダイエットやエステ、美容整形の広告があふれています。

ルッキズムは多くの人にとって身近な問題であり、特にSNSを長時間利用する若者に大きな影響を与えています。容姿を気にしている若者たちにとっては、「人は見た目じゃない」「気にしなくてもいい」と言われても、なかなかそのように思えず、心身に何らかの影響を受けることがあります。こども家庭庁の令和5年度調査(※1)によると、日本の13~29歳の54%が、自分の容姿のことを「心配」または「どちらかといえば心配」と答えており、他国でも同様の傾向であることが分かります。自分の外見を気にするあまり、もっと痩せたいという願望も強く(※2)、摂食障害は年々増加し、低年齢化の傾向にあります(※3)。

SNSでは、投稿した写真や動画のルックスが良いと「いいね!」やフォロワーが増える一方、外見への誹謗中傷もエスカレートするおそれがあります。様々な差別やいじめにつながることもあり、ルッキズムの拡大には注意が必要です。



## いろいろな心、体の人がいて そのままのあなたでいい

私たちは視覚的な情報に相当影響されており、誰の中にも無意識の偏見や、女性は(男性は)こうあるべきだという価値観が強く存在しています。ルッキズムの問題は一朝一夕に解決できるものではありません。ルッキズムが単に「人を見た目で判断してはいけない」という意味で捉えられがちなのは、いまだその理不尽さや差別性がきちんと理解されていないともいえます。人の価値を外見だけで判断することは、その人の内面や能力を否定し、尊敬を傷つけ、ひいては多様な価値観や個性を認め合う社会の阻害要因にもなるおそれがあります。ルッキズムの解消には、それに気づくことが大切です。過度の加工や修正をせず、自分自身も他者に対しても、ありのままの姿を愛し受け入れ、尊重する動きも広がっています。

私たち一人ひとりの意識と行動がよりよい社会の実現につながります。まず、自分の願望や発言を振り返り、「これは適切なのか?」と考えましょう。そして、見た目にとこだわらず、自分や他者を大切にすることを周囲の人に伝えていきましょう。



## 心をむしばむルッキズムの言葉

何気ないひと言葉でも、自分に向けられていなくても、聞くとモヤモヤすることがあります。あからさまな嫌がらせではないため、気がつきにくいし、やめてほしいと言いつづらこともありません。身近な日常会話の中にもルッキズムが潜んでいます。

### 「ふつう」を押しつけていませんか

ふつうは●●ですよ  
ぜんぜんふつうだよ

ふつうって何? 美的基準は人それぞれ違います。

### 外見の特徴をいじっていませんか

もっと背が高ければかっこいいのに惜しいね  
もう少しやせた方がいいんじゃない?

見た目をいじるのは、ボディシェイミング(他人の容姿について否定的な発言をする)という行為です。相手の自尊心を傷つけ、劣等感を感じさせてしまう可能性があります。

### 容姿について何気なく発言していませんか

肌が白くてきれい  
顔が小さくてスタイルがいい

そうした価値観はいつどのように植え付けられたのか、見つめ直すことが大切です。

## 第23回 With You さいたまフェスティバルを開催しました!

2月1日(金)から2日(土)までの2日間、「第23回 With You さいたまフェスティバル」を開催し、約1000人の方々にご来場いただきました。このフェスティバルは、男女共同参画の視点を持って活動する団体・グループが日頃の活動の成果を発表する催しです。41の参加団体は、ワークショップや展示、舞台において、それぞれ工夫を凝らし、熱い思いを形にして来場者へ伝えました。

**来場者アンケートより**

どのブースも奥が深く、目からうごめくさん落ちました。素敵なおイベントと思いました。(60代女性)

男女共同参画や多様性にまつわる展示が多く、意義あるイベントと思いました。(19歳以下男性)

会場全体がやさしくあたたかい雰囲気にも包まれていたと思います。(50代男性)

集まった人たちと、よく話せた。時間が足りないくらいでした。(50代女性)

様々な団体さんを知ることができたのと、直接お話を伺えて勉強になりました。(30代女性)

とてもいいね!とお話をしてくださり、とてもフレンドリーな雰囲気でした。(30代男性)

会場のレイアウトはゆったりして仕切りもよく、良い雰囲気でした。(80代以上男性)

第23回 With You さいたまフェスティバル報告

フェスティバルの様子を紹介しています。ぜひ、御覧ください。



## 2/2回 With You さいたまフェスティバル講演会

# アニメ・キャラクターのジェンダー観 ~これまでとこれから~

フェスティバルの最後には、横浜国立大学大学院教授の須川亜紀子さんをお招きし、「アニメ・キャラクターのジェンダー観」について御講演をいただきました。はじめにアニメで描かれるキャラクターをジェンダー視点で考察する重要性について話されました。アニメは多くの方に、幼少期から思春期、青年期と長期にわたって視聴されています。特に幼少期に見たキャラクターや世界観はその後の人生のロールモデルとして影響を与えているとのことでした。そして、アニメのヒーローの描かれ方が時代とともにどのように変化してきたのかをその背景とともにお話されました。高度経済成長期の1960年代には、男性ヒーローは女性や子どもといった弱者を悪から守り、女性ヒーローは弱者の立場から一時的に強者の不正、理不尽をたすくものとして描かれていました。

1970年代に入ると、戦闘に加わる少女が登場しますが、紅一点の脇役の扱いにとどまっていた。それが徐々に、自分の人生を選択する女性も描かれるようになっていきました。女性の社会進出が本格化してきた1980年代には、男性ヒーローは戦うだけでなく、自ら悩みを抱えるようになります。そして1990年代、男性ヒーローの悩みは一層深くなり、女性ヒーローは恋愛を楽しみながら美しく戦うようになっていきます。2000年代に入るとヒーローは多様化し、弱い少年の成長や強い女性も描かれるようになり、男女の差は忍術などのテクニックの差となりました。2010年代はダイバーシティが尊重され、ジェンダーレス化が進みます。ゲイのヒーローも登場しました。2020年代には、従来は女性に結び付けられていた思いやり、ケア、

弱さを兼ね備えた男性ヒーローが現れ、小学生が尊敬する人物にも選ばれるようになりました。また、女性を見た目ではなく能力で判断し、尊敬する場面も出てきます。男性・女性ヒーローともに「男らしさ」「女らしさ」に結び付けられた資質を両方も備え、ジェンダーや年齢を超えてグラデーションで描かれるなど多様化が進んできているとお話でした。講演の最後は、今後もアニメはダイバーシティ(多様性)、イクイティ(公平性)、インクルージョン(包摂)の傾向がますます進むだろう、皆さんもアニメをジェンダーの観点から注視してほしいとまとめられました。アニメを通じてジェンダー観の変遷について考える良い機会となりました。

